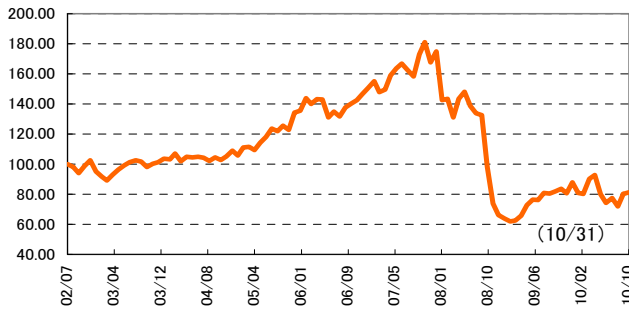


# グローバル株式型

主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。  
 MSCI WORLDインデックス(注)を上回る投資成果を目指します。  
 (注) MSCI WORLDインデックスとは、MSCI Inc.が提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

## ユニット・プライスの推移



ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点「100」として数値化したものです。

## ユニット・プライスの収益率

収益率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
グローバル株式型	1.00%	4.88%	▲12.43%	▲2.75%	▲55.21%	▲33.86%	▲18.89%
グローバル株式型 ※保険関係費用 控除前	1.14%	5.28%	▲11.63%	▲1.15%	▲50.40%	▲25.86%	▲5.67%

## 特別勘定資産内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
現金・預金	49	0.5
投資信託	10,422	99.5
合計	10,471	100.0

# グローバル成長株ファンド

【参考】主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:日興アセットマネジメント株式会社)

### <基準価額の騰落率>

	1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
グローバル成長株ファンド	1.14%	5.33%	▲11.78%	▲1.19%	▲53.23%	▲10.38%
MSCI ワールドインデックス	▲0.45%	1.00%	▲13.08%	▲4.20%	▲48.27%	▲10.95%

\*当ファンドの設定日は2001年10月2日です。

### <株式組入上位5ヵ国>

1	アメリカ	46.2%
2	イギリス	10.8%
3	ドイツ	5.5%
4	香港	5.1%
5	日本	4.4%

### <株式組入上位10銘柄(銘柄数79)>

	銘柄	通貨	業種	比率
1	APPLE COMPUTER INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	3.2%
2	ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	3.0%
3	DAIMLER AG	ユーロ	自動車・自動車部品	2.0%
4	INGERSOLL-RAND PLC	アメリカドル	資本財	1.8%
5	EMC CORP/MASS	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	1.8%
6	GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカドル	資本財	1.7%
7	GOOGLE INC-CL A	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.7%
8	STANDARD CHARTERED PLC	イギリスポンド	銀行	1.6%
9	NEWS CORP-CL A	アメリカドル	メディア	1.6%
10	HEINEKEN NV	ユーロ	食品・飲料・タバコ	1.5%

### <資産構成比>

1	国内株式(先物含む)	4.4%
2	外国株式(先物含む)	91.7%
3	CB	0.0%
4	公社債	0.0%
5	現金その他	3.9%

### <運用コメント>

米国市場は、前月の上昇基調を持ち越す格好で、堅調に始まりました。その後も、軟調な9月の雇用統計などを背景に、米国連邦準備制度理事会(FRB)が追加金融緩和に踏み切るとの観測が強まり、上昇基調で推移しました。月半ば以降、中国人民銀行(中央銀行)による政策金利の引き上げや米銀の住宅ローン巡る問題などが重しとなり、一時軟化する局面もありましたが、下旬には、良好な企業決算などが好感されて堅調に推移し、年初来高値に迫りました。欧州市場は、アイルランドの銀行救済をきっかけとしたソブリン・リスク再燃への警戒感から、軟調に始まりました。その後は、各国中央銀行の追加金融緩和策への期待が高まるなか、堅調な商品相場や良好な企業決算などから上昇基調となりましたが、月末にかけては、欧州金融大手の軟調な決算内容などが嫌気され、反落しました。このようななか、ボトムアップによる銘柄選択に基づき、資本財・サービスセクターの銘柄などを積み増した一方、情報技術セクターの銘柄などを一部売却しました。資本財・サービスセクターでは、米国の大手運送会社を新たに組み入れました。同社は、引き続き世界経済の回復から恩恵を受けると見ております。情報技術セクターでは、主力のノートブックPC市場がタブレットPCの普及により侵食されるリスクが高まってきたことから、米国の家電向け半導体製造会社を全売却しました。

10月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは情報技術、一般消費財・サービス、資本財・サービス、対してアンダーウェイトとしているのはヘルスケア、金融、公益事業です。

今後も銘柄選定ならびにセクター選定を重視し、世界のリーディング・カンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっていきます。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行ないます。

当資料に関する「ご注意いただきたい事項—大切なことから」を5/5ページに掲載していますので必ずご参照ください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。